



## ネット生保が2社開業...生命保険料の激安戦争が始まる？

新しい保険会社が続々誕生です。エイチエス損害保険は旅行会社HISの子会社保険会社です。異業種からの参入です。

アニコム損害保険はペット保険の保険会社です。これまでなかったニッチな保険会社です。

アドリック損害保険は保険代理店の子会社保険会社です。

「保険会社の下に保険代理店がある」のが保険業界の常識でしたが「保険会社を子会社に持つ保険代理店」が登場したのです。

損保業界だけでなく生保業界でも新保険会社の誕生です。4月にSBIアクサ生命、5月にライフネット生命が開業です。

両社ともインターネット専門の生命保険会社です。

### ネット生保の激安度合

2社に共通するのは圧倒的な保険料の安さです。

保険金1000万円の10年定期保険(死亡保障保険)で比べました。

男性30歳の保険料で比べるとオリックス生命1840円で、ライフネット生命は1328円です。

オリックス生命の保険料が高いというわけではありません。

表のオリックス生命もAIGエジソン生命もこれまでは「激安商品」といわれた安い通販商品です。筆者もその安さからオリックス生命に入っています。

大手生保の保険商品はこのオリックス生命から更に何割も高い保険料になっています。

これまでの「激安商品」が「激高商品」に見えてしまう程の安い保険料設定となったのです。10年定期保険 保険金1000万円

生命保険会社	男性 30歳	男性 40歳	男性 50歳
オリックス	1840円	2980円	5960円
AIG エジソン	1950円	3010円	5860円
SBIアクサ	1530円	2690円	5620円
ライフネット	1328円	2580円	5898円
	女性 30歳	女性 40歳	女性 50歳
オリックス	1490円	2150円	3490円
AIG エジソン	1630円	2240円	3540円
SBIアクサ	1190円	1870円	3210円
ライフネット	948円	1676円	3178円

新保険会社2社はずいぶん思い切って安い保険料を設定しました。特に女性と若い層で安く、一部では大手生保商品の半額程でしょう。

一方で経費をそぎ落とし、申込はネットで完結します。

SBIアクサ生命の保険料支払い方法はクレジットカードのみです。銀行口座引き落としすらも受け付けません。

ライフネット生命は銀行口座引き落としを扱うものの、月払いだけであり年払いや半年払いは受け付けません。

### インターネットと生命保険

自動車保険はネットでの販売

が増えています。商品に多少の差はあるものの画一的な商品ですから、ネット上での「一括見積もり」になじみやすいのです。

しかし生命保険のネット販売は自動車保険のように広がっていません。

生命保険は契約者個別の事情があり、コンサルティングの必要な複雑な商品だからでしょう。

そしてコンサルティングの件費が保険料に織り込まれ、保険料が割高になるのはやむをえないことです。

しかしネット通販商品とこれほど保険料に差が生じれば「多少割高でもコンサルティングが必要」とも言えなくなります。

ちなみに大手生保各社のホームページには表の10年定期保険の保険料は掲載されていませんでした。もっとも基本的な保険商品なのですが、保険料を比較されたくないのでしょうか。

金融庁の後押し(強制?)で保険業界は「保険商品比較のありかた公開討論会」を続けています。しかし消費者向けビジネスをしていながら保険料の「公開」すらしない業界に「比較」の言葉は10年早いように思えます。

旧大蔵省の護送船団行政の加護に慣れ続けた業界だからでしょう。そんな業界だからこそ、まともな競争を行ってきた旅行業界等の異業種から見ればそこは参入のチャンスなのです。